不動産調書

１　自己所有の土地及び建物

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所在地 | 地目又は構造 | 用途 | 面積（㎡） | 資産区分 | 金額（円） | 時価価格（土地のみ） | 所有権登記年月日 | 抵当権等の設定状況 |
| 登記 | 定款 | 提供の有無○ | 提供先 | 所轄庁承認年月日 | 設定年月日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　〔注意事項〕

　①　所在地、地目、構造及び地積は、登記事項証明書と一致すること。

　②　金額は財産目録及び固定資産管理台帳と一致すること。

　③　「資産区分」欄には、基本財産・その他財産・公益事業用財産・収益事業用財産の別を記載すること。

　④　「抵当権等の設定状況」欄には、すべての抵当権等について、その順位ごとに記載すること。

　⑤　独立行政法人福祉医療機構からの融資による担保提供の場合、「所轄庁承認年月日」欄は空欄のままとすること。

　⑥　協調融資による担保提供の場合、「担保提供先」欄には協調融資の金融機関名を、「所轄庁承認年月日」欄」には協調融資である旨を記載すること。なお、協調融資の金融機関と同一の金融機関からの借入れであっても、協調融資以外の融資（協調融資とは異なる時期の借入れなど）については、所轄庁の承認が必要であること。

⑦　時価価格については、不動産鑑定評価までは求めないが、その場合は、固定資産税評価額等を参考に記入すること。

（非課税で固定資産税評価額が出ていない場合は、近傍類似価格等の単価を参考に評価額を見積もること。）　　（例）固定資産税評価額÷0.7、　近傍類似地価÷0.8

　⑧　行が足りない場合は、本様式をコピーして使用すること。

２　借用している土地及び建物

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 所在地 | 地目又は構造 | 用途 | 面積（㎡） | 土地の借用に係る契約状況 |
| 契約書の有無 | 相手方 | 地上権・賃借権の設定状況○ | 設定登記年月日○ | 設定期間（契約期間） | 賃借料（年額） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

〔注意事項〕

①　「地上権・賃借権の設定」欄には、設定している地上権又は賃借権の別を記載すること。

②　地上権又は賃借権の設定期間は、事業の存続に必要な期間となっていること。

③　地上権又は賃借権の設定登記がなされていない場合は、その理由と今後の対応を下記に記載すること。（設定期間には契約期間を記載すること。）

|  |
| --- |
| 【理由と今後の対応】 |